

さあ10日、月曜日！私立高校等の入試日です！！

2月10日(月)に入試を控えた人が多いと思います。緊張している人、そうでもない人、不安な人、準備万端で迎える人、さまざまだと思います。

しかし、みなさんはこれまで学習、行事や校外でのさまざまな場面の経験をして、不安・悩みを乗り越え挑戦してきました。そんなみなさんのがんばりを、多くの人が応援しています。入試当日の注意点をしっかり確認して、落ち着いて日頃の実力を発揮できるよう、コンディションを整えて本番を迎えましょう。

【入試当日の心構え】

- ①身だしなみに気を付ける。
- ②試験会場には30分前には到着する。
- ③自転車で行くのは禁止です。家から最寄りの駅までもダメです。
※トラブルがあっても、高校から配慮してもらえない可能性大！
- ④友人が約束の時間に来ない場合は、待たずに受験校に向かう。
- ⑤受験校に着いたら、すぐに掲示してある教室割り当てなどの連絡事項を確認すること。
- ⑥試験終了後は、速やかに帰宅する。



【試験中の注意】

- ①試験監督の先生の言う事をよく聞く。
- ②試験開始直後、まず始めに受験番号、名前を解答用紙に必ず書く。
- ③順番通りに解く必要はありません。得意な問題、出来そうな問題から確実に解いていく。
- ④何か問題が発生したり、先生の指示の意味が分からない場合、遠慮せずに手を挙げて確認する
- ⑤キョロキョロ周りを見たりするなど、監督の先生の誤解を招くような行動や、カンニング等の不正行為は絶対にしない。試験中に寝ることなど、絶対にあってはなりません。
- ⑥試験時間終了まで何回も見直して、終了の合図ですぐに手を止める。
- ⑦休憩中の態度にも気を付けること。行儀良くしておく。



こんな時どうしよう？



- ①遅刻するかもしれない・・・
→必ず中学校に電話して、焦らず受験校に向かう。中学校から受験校に遅刻連絡をします。
- ②受験校に向かっている途中に、受験票などの忘れ物に気付いてしまった・・・
→そのまま受験校へ向かう。到着後、受付の先生や試験監督の先生にその旨を伝えて、指示を受けること。本人であることが確認出来れば受験可能です。慌てないように。
- ③電車の事故などの交通事情で、受験校の集合時刻に間に合わない・・・
→遅れてでも受験校に行き、受験校の先生に事情を説明して指示を受ける。
電車・バスなどの公共交通機関の延着は配慮してもらえます。
※タクシー・自家用車で延着は認められません。
- ④当日風邪を引いてしまった(体調不良になってしまった)・・・
→必ず中学校に電話する(朝7時)。中学校から受験校に事情を説明し、指示を受けます。その後、別室、別日受験などの連絡を、中学校からご家庭へ連絡します。
注意！ ご家庭から受験校へ直接連絡することは、絶対にしないでください。



【合格発表時期の注意】



- ①各校合格発表日が平日の場合、平常通り登校し学校生活を送り、帰宅後結果を見ること。朝から自宅待機して、学校に遅刻あるいは欠席するようなことはしないこと。
- ②合格の場合は、発表翌日に必ず担任の先生に提出・報告する。
*残念ながら不合格の時は、すぐに担任に報告してください。
- ③合格者は、合否通知や、今後の動きが書かれた書類をよく読んでおく。
特に専願者は入学金振り込み期間や、手続きのための高校への登校日などよく確認しておく。
手続きが遅れると、合格取り消しになる場合があります。
※専願合格者について、高校への登校日が平日の場合、担任の先生への事前連絡を忘れずに！



私学入試後の学校生活について

専願合格者にとっては、あとは卒業式を迎えるだけです。しかし、併願者にとっては公立選抜が残っています。専願者は併願者に対して、落ち着いて受験勉強できる環境を作りましょう。また、併願者は専願者に対して、受験に向けて真剣に努力している姿を見せましょう。お互いに協力し合い、全員で気持ち良く卒業式を迎えることができるよう、あと少し頑張りましょう。

持ち物チェック！

必要なものの一例です ※受験する学校によって異なります。

- 受験票 鉛筆またはシャープペン(最低 2 本・芯) 定規・コンパス
- 消しゴム(予備も) 交通費 上履き 下足入れ 弁当
- 水筒 生徒手帳 使い捨てカイロなど
- 時計(計算機能などないもの) 予備のお金(小銭)
- ハンカチ・ティッシュペーパー その他高校側で指定されたもの